

## 2016年 第1回JMRC中部ジムカーナ部会議事録

日時：2016年2月7日(日) 13:00~18:10

会場：小牧中央公民館 会議室

出席者(敬称略)：菅野,小澤,坂,豊田,小谷,小川,沼口,清本,中田,加田

### 部会議案内容

#### 1) 部会メンバーの紹介

新規メンバー(小谷さん,小川さん,清本さん)の紹介と各担当の確認

【部会長】	菅野 秀昭
【事務局長】	小澤 忠司
【事務局補佐】	坂 和磨
【チャンピオン戦事務局】	豊田 昌孝
【チャンピオン戦主催者代表】	小谷 聡
【チャンピオン戦選手代表】	小川 国大
【東海シリーズ事務局/主催代表】	沼口 和己
【東海シリーズ選手代表】	清本 享志
【北陸シリーズ事務局/主催代表】	中田 博信
【北陸シリーズ選手代表】	加田 充

#### 2) 配布資料の説明

メールで事前配布した資料を説明

#### 3) 部会日程

- 意見交換会ではなく、各シリーズでアンケートを実施
    - 2/21(日)…東海シリーズ第2戦(美浜サーキット)
    - 3/13(日)…地方選手権第1戦(幸田サーキット)
    - 4/17(日)…北陸シリーズ第1戦(大日スポーツランド)
  - 部会
    - 5/14(土)…第2回(小牧;会場調整中)
    - 6/11(土)…予備(第3回)(小牧;会場調整中)
    - 10/16(日)…第3回(小牧;会場調整中)
  - その他
    - 8/21(日)…主催者会議(イベントカレンダー事前調整)
    - 10/29(土)、30(日)…西日本フェスティバル(中部開催;美浜サーキット)
- 詳細は別紙を参照(部会HPに掲載済み)

#### 4) JMRC全国振興事業委員会の報告

昨年のJAFカップ(名阪)の報告;参加者55名(最多)

地区対抗戦2位の賞金は次年度のJAFカップ、西フェス出場者の交通費支援金にする予定  
2016年JAFカップは、九州主催で会場は恋の浦スピードパーク。

クラス案;JAFカップクラス+併設クラス(Bクラス、ラジアルタイヤ)の予定で調整中  
JAFカップ恋の浦参加者への交通費支援として1名5000円+αを予定。

#### 5) 2016年JAF CUPおよび西日本フェスティバルについて

西フェス・・・主催;FASC,会場;美浜サーキット 事務局;菅野部会長  
ケイタリング・・・部会でケイタリングを運営

#### 6) その他

(1) 部会の今後のビジョン案

コンセプト

- 1) イコールコンディション
- 2) ピラミッドが形成できる・・・ステップアップできる
- 3) 長く続けられる
- 4) 初心者が楽しめる
- 5) 維持費を安く

- 6) 選手・主催者・観客、皆がともに楽しめる
  - 7) 地域に根付いた
  - 8) 楽しくなければジムカーナじゃない
- 「長く、安く、公平に楽しめるジムカーナ」をもとに部会が原案作成

(2) マフラー規制を今後どうするか

- ・昨年第3回部会で作されたマフラー規制撤廃提案について。「マナー指導」と「会場周辺での静かに指導」
- ・アンケート案・部会長案を調整

マフラー規制撤廃した場合のリスク説明が必要

→一部会場での開催中止や近隣に対する騒音問題などについて口頭で説明する

マフラー規制撤廃する場合の条件案

騒音規制

保安基準適合品(車検対応品はNG)・・・JASMA 認定品を推奨する。各自証明する書類を持参。

→EF, EG の JASMA 認定品があるか確認する

音量規制値案・参考:全日本と同じ値(近接騒音), スパ西浦(加速騒音95dB), 幸田(走行時93dB)

→規制値は別途計測し決定する

計測方法案→スタートライン後、光電管の後ろ側に設置

違反した場合の処置案→当該ヒート無効(2ヒートまでに修正した場合は出走可能)

2ヒートで無効になった場合は、修正しなければ自走禁止

計測器の確保・・・運営委員会に申請しJMRC 中部で購入

マナー指導・・・一般路でマナー違反があった場合は、出走を拒否する場合がある

→部会より所属チームに連絡して指導を徹底してもらう

行き帰りの近隣で「静かに走行」を指導

スピード違反

一般車への煽り行為

パンフレット→作成

マフラー選び手引き→作成

イベント運営

開始時間を遅らせる→NG

選手が事前に誓約書を準備する→誓約書を作成(順守事項を明記)

マフラー規制アンケートにタイヤに関するアンケートも追加する

対象PN,RA,RN, S1500・・・ラジアルタイヤ(銘柄規制, ラベリング規制, ワンメーカー)

対象SA,N・・・セミレーシングタイヤ(ラベリング規制タイヤ化, 銘柄規制ラジアル化, 現行まま)

(3) PNクラスを守り育てていくため、限定車やマイナーチェンジに伴う現行車の戦闘力の低下に  
対して、イコールコンディションをどうやって確保するか

Aさんからの意見書

以下の部品に限り、同一車両型式であれば交換ができるようにする。

- ① 走行装置である、タイヤ、ホイールのサイズ。
- ② 駆動部品である、ファイナルギヤ、およびミッションギヤ。
- ③ サスペンション部品である、スタビライザー。
- ④ 制動装置関連は、保安部品の観点から交換は、不可とする。

数量限定生産車両は、PNクラスへの参加は認めるが、PN4クラス限定とする。

⇒ 当面は保留とする。

明文文化は危険。噂だけでは動きづらい。問題が発生したときに協議する。

(4) N、SAクラスの減少に対する対応と今後の展望

→クラス統合についてアンケートする

新クラス分け案

・A案

PN1 PN 車輛の前輪駆動車 (FF)

PN2 PN 車輛の後輪駆動車 (FR)

PN3 PN1・PN2 に含まれないPN 車輛

N・SA1 N車輦とSA車輦の前輪駆動車  
N・SA2 N車輦とSA車輦の後輪駆動車  
N・SA3 N車輦とSA車輦の4輪駆動車  
SCD2 SCD車輦の2輪駆動車  
SCD4 SCD車輦の4輪駆動車  
S1500 S1500車輦

• B案…N, SAを統合

チャンピオン戦

S1500→PN1に統合

SA1 1600cc以下2輪駆動のN/SA/SAX車輦

SA2 1600ccを超える2輪駆動のN/SA/SAX車輦

SA3 4輪駆動のN/SA/SAX車輦

PA1 縦溝ラジアルタイヤの前輪駆動のN/SA/SAX車輦

PA2 縦溝タイヤの後輪駆動のN/SA/SAX車輦

PA3 縦溝4輪駆動のN/SA/SAX車輦

PA4 PN3(現行86/BRZ)のSA/SAX車輦

その他;走行費値引き(参考;他地区では1000円引き)

東海シリーズ

RNとRAの統合し、タイヤサイズ変更する

中部地区シードと全日本シードの特典

EXクラス無料化

ポイント制の見直し

•ミドル戦の有効ポイント…台数の50%を検討→主催者に問い合わせる

(5) 10年先まで見据えたクラス分け案とは

C案

PN規定をベースに以下を変更

1) タイヤサイズの規制・・・駆動輪タイヤ幅、パワー、ウェイトの値を元に計算式によるサイズ規制

2) タイヤ銘柄の指定・・・JMRC中部が認めるタイヤのみ使用可能

3) 駆動方式別のクラス区分

4) 会場内に限り、電子デバイスの解除が可能

5) 同一型式の生産中止から、10年以上経過していない事

6) 年間200台以上(国内)の生産実績がある事

→継続審議

(6) SAとSAX車輦の車輦変更した場合の扱い。(審査委員会グループからの依頼)

→SAとSAXは特別規則およびクラス区分は同じにしている。

車輦変更は、「同一部門同一クラス内」となっているので、部会ではOKと判断する

(7) 地方選手権第8戦の扱いについて(審査委員会グループからの依頼)

JMRC中部タイトルを外した扱いとなっているが、

マフラー規制以外JMRC中部のルールに則って運営するかを主催者に確認する

(審査委員派遣、協力金等の扱いについて)

(8) 部会主催の初心者向けレッスンについて

年1回は企画して実施したい。コース代が安いところ

案;キョウセイシリーズの午後枠

案;めいほうスキー場

案;イオックスアローザ

→継続審議